

一人ひとりの 学ぶ心を 育てていこう。

「子どもの学力向上に向けた取り組み」と「人間性豊かな子どもの育成」に、もつと力を入れてほしい。これは、平成22年の県民意識調査で現れた教育分野に望む県民の願いです。こうした県民ニーズを踏まえ、県では「みんなではぐくむ学びの場いわた」を共通の理念として『岩手の教育振興』を策定しました。

現状の教育課題を 解決し、未来を担う 「ひとつづくり」を。

社会情勢の変化や家庭・地域での教育力の低下、インターネットなどの情報メディアの影響など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。このことにより、学力の低下や家庭学習の減少、体力低下や肥満傾向など、さまざまな課題が指摘されています。

そこで県では、このような課題を克服し「いわて県民計画」の理解を深めるガイドラインとして、今後10年間の基本方向を示すために「岩手の教育振興」を策定しました。子どもたちの生きる力をはぐくみ、だれもが生涯を通じて学び、暮らす活力をはぐくむためには、学校、家庭、地域の連携が不可欠です。岩手のゆたかさを守り、育て、受け継いでいく「ひとつづくり」を、一緒に進めていきたいと思います。

岩手ではこんな課題を抱えています！

学力向上
中学生の数学や英語の基礎・基本の理解が不十分。特に全国学力・学習状況調査の数学の結果では、全国平均を下回る。

家庭の教育力向上
テレビやビデオ、DVDの視聴時間が長い。中学生の家庭学習時間は学年が進んでも、小学校6年生からほとんど増加していない。

地域の教育力向上
核家族化の進行や地域内の交流機会の減少により、人と人とのつながりが希薄化。社会生活に必要な規範意識も低下との指摘。

伝統文化の継承
少子高齢化が進み、伝統文化の継承を担う後継者が不足。郷土の伝統文化の継承や理解が不十分。

体力向上
運動好きの子どもの割合が減少傾向。また外遊びの減少や偏食により肥満傾向が進み、体力・健康に関心を持たせることが必要。

「みんなではぐくむ学びの場いわた」を理念に、次の4つの分野で取り組みを進めます。

スポーツ
の振興

文化芸術
の振興

生涯学習
の拡大

学校教育
の充実



写真は盛岡市「こずかた学童クラブ」の1年生、2年生、3年生の皆さん

【問】 県庁教育企画室 019-629-6106

『岩手の教育振興』の詳細は
教育委員会ホームページで

岩手の教育振興

検索